Ogori News

市の「マンホールカード」が誕生!配布を開始します

問下水道課管理係(西別館2階)☎72-2111内線342

小郡市のマンホールカードを4月28日(土)から配布します。

日本のマンホール蓋は全国各地でデザインが異なり、ご当地アイテ ムとして注目を集めています。マンホール蓋の写真や、マンホール カードを収集するファンは、"マンホーラー"、"蓋女(ふたじょ)"と呼 ばれ、最近はコレクションする人が増えているそうです。

一般的に、蓋にはその土地にゆかりのある各所、名物品などが描か れ、小郡市のマンホール蓋は市の花である「ふじ」をモチーフにしたデ ザインです。市公共下水道供用開始30周年を記念して1枚のみ作成し た市オリジナルのカラーマンホール蓋が、カードになりました。

ぜひ市のマンホールカード(無料)を手に入れ、実際のマンホール蓋 を探してみてください。下水道はとても身近なところで、私たちの生 活を支えています。

今後は、市公共下水道供用開始30周年を記念して下水道の普及・促 進のためにさまざまな企画をしていきます。詳細は、市のホームペー ジやフェイスブックで発信します。



【マンホールカード】

楽しみながら下水道に興味を持っていただくことを目的に、下水道広報プラットホーム(GKP)が企画、制 作するマンホール蓋のコレクションカード。

全国9つの地域で色分けをしたマンホールカードは、「地域」「都道府県」「市町村」「デザイン」別など、自分好 みの集め方ができる楽しさがあります。裏面にはデザインの由来、モチーフ、下水道に関する情報などが記載 されています。

配布開始 4月28日(十)/午前9時

: あすてらす

配布場所 平日(午前9時~午後5時)

:市役所下水道課(西別館2階)

土日祝日(午前9時~午後5時)

: あすてらす

※年末年始は配布しません

※1人1枚まで

※事前予約や郵送配布は 受け付けません

※カードと一緒に、小郡 市下水道課特製カード ホルダーも配布します



表

位置は自分で 探してみよう



↑位置情報やデザインの 由来を掲載

裏



▼近隣では、こんなデザインも!



福岡市



久留米市



佐賀市

受験生必勝アイテム!?

マンホールの蓋は丸く、表面は凸 凹があることから、「落ちない」「す べらない」といわれています。受験 のお守りとして、いかがですか?

Ogori News

市民提案型協働事業を募集します

■ 園協働推進課コミュニティ推進係(本館2階) ☎72-2111内線252〒838-0198 小郡市小郡255-1

市は、NPO法人やボランティア団体などの市民活動団体の皆さんが実施する市民活動を応援するとともに、市民と行政の協働のまちづくりを推進することを目的として、「市民提案型協働事業」を募集します。今年度は、「スタート応援補助金」のメニューを新設しました。

●条件

市内に活動拠点を置く5人以上の団体で、かつ次の条件を全て満たす事業

- ・主に小郡市内、または小郡市民を対象として実施する事業
- ・地域課題の解決につながると認められる事業
- ・行政と協働して実施することが妥当であると認められる事業
- ・市民活動団体の特性や専門性を生かした事業

●補助メニュー

【①スタート応援補助金】

市民活動をこれから始めたい、団体を立ち上げたいと考えている人の新たな取組のスタートを応援します。

対象 公益性があり、平成31年度以降の実現の可能性が高いと判断できる事業 補助額 1件当たり上限10万円

【②協働事業補助金】

市民活動団体が提案する、市と協働して地域課題の解決にあたる事業を支援します。

対象 活動実績が1年以上ある団体が実施する公益性のある事業 補助額 1件当たり上限30万円

●応募方法【①、②共通】

必要書類 事業提案書、事業計画書、収支予算書、団体調書など

申込方法 必要書類を持参または郵送

- ※様式は、窓口、生涯学習センター、小郡市ボランティア情報センター(あすてらす内)で取得、または市ホームページでダウンロードできます
- ※事業の目的や効果などを審査し、結果を通知します

申込締切 5月18日(金)必着

※持参する場合は、平日午前8時30分~午後5時受付

※詳しくは、お問い合わせください





東野小学校の給食施設が完成し、試食会を開催しました

週学校給食課センター係☎72-4610

東野小学校に、自校式給食施設が完成しました。3月14日(水)には加地市長・清武教育長が訪問し、6年生 と一緒に楽しい試食会を行いました。









【この日の献立】 赤飯、豆腐のすまし汁、鰆(さわら)の西京焼き、 キャベツのおかか和え

●今後の予定

学校給食用食器の材質は、安全性が社会問題として取り上げられたことをきっかけに改良されています。 市の自校式給食はこれまで「磁器食器」を採用してきましたが、割れることがあり、低学年の児童には重さも 課題となっていたことから、今後、東野小学校で市内で初めて「PEN食器」を導入する予定です。

【PEN食器】

磁器食器に比べて軽い、割れない、扱いやすい点が魅力。食品衛生法の規格基準に適合しており、環境ホル モン(ビスフェノールAなど)を含まず、耐熱性・耐久性に優れた安心な食器です。

学校給食で過去に指摘された食器の安全性の問題

1970年代 PP(ポリプロピレン)食器…酸化防止剤(BHT)の溶出

1980年代 メラミン食器…ホルムアルデヒドの溶出

PC(ポリカーボネート)食器…原料のビスフェノールAの溶出 1990年代

環境ホルモン